

ICSL JOURNAL

飯山市スポーツ推進委員会だより 〈編集・発行：飯山市スポーツ推進委員会〉



スポーツ推進委員とは

スポーツ推進委員は、スポーツ基本法第32条に基づいて委嘱される非常勤の職員（任期2年）です。スポーツの楽しさを伝え、誰もが気軽にスポーツに親しめる環境をつくるため、地域の皆さんとの連携の中で事業の企画・立案・実施を行うとともに、スポーツ・レクリエーション事業のスポーツニーズを把握し、行政施策に反映するパイプ役として役割を果たしています。

スポーツ推進委員は各地区からの推薦により選出され、定員15名に対し、現在は12名の委員（男性10名、女性2名）で活動しています。



飯山地区ニュースポーツ体験教室

令和3年11月13日(土)に、飯山地区ニュースポーツ体験教室が開催され、村越委員、根食委員、堀田委員が講師として参加してきました。

体験していただいたニュースポーツは、ボッチャと囲碁ボールでした。2つとも年齢や障害の有無を問わず、簡単な説明で楽しめる競技です。

ボッチャはパラリンピックの種目でもあるため、楽しむのと同時に、障害者スポーツの競技性の高さや、奥深さも感じていただきました。囲碁ボールは、ゲートボールと囲碁を組み合わせた発想と感覚がよかったようで、参加者に楽しんでいただけました。

参加者の笑顔をみれば、充実した体験会になったことがわかりました。私たち講師もニュースポーツのすばらしさを再認識し、講師も楽しめた体験会となりました。

飯山市スポーツ推進委員会による 囲碁ボール紹介動画はコチラ！➡



ニュースポーツをやってみた
(囲碁ボール編) Youtubeリンク

飯水スポーツ推進員連絡協議会 競技力向上講座

「障がい者スポーツの体験」

飯山市と栄村のスポーツ推進員で組織される飯水スポーツ推進委員会連絡協議会主催の競技力向上講座が、令和3年11月28日に開催されました。講師は、長野県生がい福祉センターサンアップルより、スポーツ課指導員の清水美沙氏、荻野洸氏を招き、「障がい者スポーツ」について講義いただきました。

講義では、障がいの種類や障がい者との接し方について学び、その後「障がい者も楽しめるボールゲーム」をテーマにワークショップを行いました。障がいの設定は「両上肢切断」と「全盲」の2パターンを想定した内容で、既製の体育用具はもちろん、風船やペットボトルなども使ってスポーツを考えました。障がい者が参加のスポーツでは健常者が「やってあげる」のではなく、全員が平等に楽しめ、競えるよう工夫すること大切であることを学びました。

今回の講座では、障がいスポーツのみならず、スポーツ推進員の活動でも生かせる内容であり、とても充実した講座となりました。



スポーツ推進員についてのお問合せ

飯山市スポーツ推進委員事務局（飯山市大字飯山 3111 飯山市教育員会事務局 スポーツ推進室内）
TEL：0269-67-0746 / FAX：0269-62-5990 / MAIL：sports@city.iiyama.nagano.jp